

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

ご自由にお持ちください

横浜新都市脳神経外科病院
季刊広報誌

平成26年9月号

Vol.33

しんとし

患者さまの「満足」と「安心」を第一に考え、愛し愛される病院を目指しています

特集 循環器内科チーム医療

チーム医療のパートナーを紹介！

■TEAM SHINTOSHI 臨床工学科〈臨床工学技士〉



—巻頭言— 横浜新都市脳神経外科病院 院長 森本将史

記録的な集中豪雨の異常気象が続いた夏が過ぎ去り、ようやく過ごしやすい秋の気配が日常になってきました。そんななか、先日、キャンプに出かけました。友人達と語り合いながら一緒に仕込みをして食事をする時間を楽しく過ごしつつ、なにもない自然環境だからこそ、改めて気が付くこともありました。

インターネット、スマートフォンの普及で、最近では特に効率化が評価され、変化のスピードが昔より格段に速くなった、と言われます。医療分野でも、医療の進歩は医療機器の進歩が原動力だ、とも言われています。当院でも、診断機器は出来るだけ最新の機種を取り入れ、患者さんの利益につながる電子カルテをはじめとしたIT化を今後も推進していく所存です。

しかし、その一方で、人間が便利なテクノロジーに頼り過ぎると、退化していくこともあるかもしれません。子供達だけでなく我々大人にとっても、自然と共存しながら相手を思いやる感性、コミュニケーション能力など、人として大切な社会性を、便利なIT社会に翻弄されつつも、常に大切にしていける意識が必要です。

「便利さ」だけでは「快適さ」と「満足」につながりません。医療人は、自分の出来る仕事で「周りの人を、患者さんを、元気にする」存在でなければなりません。疾患を治療するだけでなく、コミュニケーションを通じて患者さんを元気にしていく病院をスタッフと共に作っていきたくと思っています。まだまだ徹底出来ていないところは多々あると存じますが、今後とも変わらぬ叱咤、激励よろしくお願い申し上げます。



● information ●

第6回市民公開講座

平成26年10月25日(土)
13:00~16:00 (開場 12:00)
会場:横浜市青葉公会堂 講堂

「脳卒中」「心臓病」「認知症」について、それぞれ当院脳神経外科専門医、循環器内科専門医、認知症専門医が分かりやすく講演します。お申し込みは電話・FAX・メールもしくは当院内にて。詳細は当院ホームページまたは地域医療連携室へお問い合わせください。電話：045-911-2011(代)

地域医療連携室だより

■救急体制の強化を目指して「第10回救急フォーラム」
7月22日、29日の2日間に渡り、救急隊員を対象に、第10回救急フォーラムを開催。第1部に当院整形外科 副院長・吉澤毎樹による大腿骨近位部骨折についての講演。第2部は「救急隊と看護師の協力体制の強化」をテーマに、救急隊と看護師のディスカッションを行いました。日々の救急患者の搬送・受入体制について、お互い感じていることや、要望について意見交換を行ない、



「定期的にやってみよう」とのご好評をいただきました。当日は35名の救急隊員が参加。救急フォーラムを通して、日頃の救急体制を振り返り、スムーズな搬送のために連携を密にし、安心して生活できる地域づくりに貢献していきたいと思えます。

しんとし健康セミナーのお知らせ

当院循環器内科医師、管理栄養士、理学療法士による生活習慣病予防に関する勉強会を行なっています！

次回、10月8日(水) 13:00~14:00
「旬の食材は栄養満点」



Topix

横浜新都市脳神経外科病院では、患者様の「満足」と「安心」を第一に考え、様々なサービスやスタッフの教育に積極的に取り組んでおります。

学会受賞しました！～スキルアップを目指して～

第20回日本血管内治療学会総会(6/20~21)、第11回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方会・学術集会(7/12)にて、当院画像診療部 齋藤誠さんが受賞しました。当院では、医師だけでなく、メディカルスタッフも積極的に学会発表に取り組んでいます。患者様によりよい医療提供が出来るよう、今後もスキルアップに努めてまいります。



- 第20回日本血管内治療学会総会
ポスター発表 優秀賞
「希釈造影剤を用いた頭頸部ステント描出における2塔式インジェクターPRESSPROの検討と有用性」
- 第11回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方会・学術集会
一押し画像コンテスト 銀賞
「左中大脳動脈閉塞 IVR Penumbra 術前における血栓範囲・形状 血管走行 閉塞部遠位血管描出画像」



東京消防庁町田消防署長より表彰

これまで積み重ねてきた救急業務の協力体制を評価していただき、この度「救急業務協力者感謝状」をいただきました。今後とも、地域医療の一翼を担い、地域のみなさまと共に成長させていただき、愛される病院を目指していきたいと思えます。

編集後記

今まで地域連携室が編集を行ってききましたが、今号より総務課にかわりました。医師・看護師・技師・事務など病院職員の“現場の生の声を伝えたい”一心で製作していきます。今後も皆様のお役に立てる当院ならではの情報をお伝えできればと思っています。

横浜新都市脳神経外科病院 季刊広報誌 通刊33号

しんとし

平成26年9月号
●発行/(医)明芳会 横浜新都市脳神経外科病院
●編集/総務課
●印刷/株式会社 博愛社

